

北嶺カルチェラタン

関西フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者
向井 航さんコンサート

日時：2022年6月6日（月）7時間目

場所：本校体育館



チェロ 向井 航（むかいわたる）

1980年、札幌市生まれ。

北嶺中学校卒業、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校卒業、東京藝術大学音楽学部を経てハンガリー国立リスト音楽院に留学。

在学中、PMF、小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル室内楽勉強会、MMCKに参加。

2006年、CHANEL ピグマリオンデイズアーティストに選出。

同年、バイオリニスト室屋光一郎と結成した「クラスタシア」でCDデビュー、5枚のアルバムをリリース。

茅原実里の楽曲をカバーした「Unification」シリーズはオリコンチャート入りも果たす。

2007年、関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者に就任。

ソリストとして札幌交響楽団、関西フィル、京都フィル、トビリシ音楽院交響楽団と共演。

オーケストラメンバーとして宮崎国際音楽祭、トランスシベリア芸術祭、ハーモニアス室内合奏団首席奏者としてジョルジュ・エネスコ音楽祭、ジョージア・シンフォニエッタ首席奏者及びソリストとしてトビリシ・バロック音楽祭に出演するほか、これまでにハンガリー、スイス、イギリス、スペイン、ドイツ、イタリア、ルーマニア、ジョージアで演奏会に出演するなど国際的に活躍している。

久石譲 Future Orchestra CLASSICS（旧ナガノ・チェンバーオーケストラ）メンバーとして全ての録音、演奏会に参加。首席奏者も務める。ピアノトリオ「まつきとわたるとはなこのトリオ」（pf 松本和将、vn 上里はな子）、チェロロックバンド「CANTHANA」各メンバー。

また、大学在学中よりスタジオミュージシャンとして活動を始め、浜崎あゆみ、Every Little Thing、BoA、SOPHIA、AI、X JAPAN、松田聖子、KAT-TUN、BEMANI-SYMPHONY、なにわ男子、ZORN、平原綾香、大黒摩季、KAN、和楽器バンド、TUBE、椎名林檎、ポルノグラフィティ、石川さゆり、森山良子、谷村新司、吉幾三、サラ・オレイン、System F、NAOTO、平沼有梨作品など、多くのレコーディング、ライブサポートに参加。

「向井航ストリングス」を主宰して、大河ドラマ「おんな城主直虎」（菅野よう子）、映画「家族はつらいよ2」、「Our time will come」（久石譲）、Eテレ「シャキーン！」（サキタハヂメ）など、映画やテレビドラマ作品のレコーディングを手掛けている。

2021年、「上原ひろみ ザ・ピアノ・クインテット」メンバーとして米テラークより発売されたCD「Silver Lining Suite」を録音。2021日本ゴールドディスク大賞「ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー」受賞。30回以上に及ぶブルーノート東京公演をはじめフジロックフェスティバル、題名のない音楽会、報道ステーション、ジャパントアール2021などに出演。

バロック、クラシック、ジャズ、ロック、スタジオワークにも精通するオールラウンドチェリストである。

ピアノ 松本和将 (まつもとかずまさ)

松本和将 MATSUMOTO KAZUMASA

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位、1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。1999年より、国内外での活発な演奏活動を開始。2001年「ブゾーニ国際ピアノコンクール(イタリア)」第4位、2003年世界三大コンクールの一つ「エリーザベト王妃国際音楽コンクール(ベルギー)」第5位入賞。

何度もピアノソナタ全曲演奏会や室内楽全曲演奏会を行ったベートーヴェンやバッハ・モーツァルト・シューベルト・シューマン・ブラームスなどのドイツ物からショパン、リスト、チャイコフスキー、ムソルグスキー、ラフマニノフ、ラヴェル、スクリャービン、ショスタコーヴィチに至る膨大なレパートリーを持ち、ソロリサイタルからピアノ協奏曲・室内楽・他ジャンルとの共演まであらゆるジャンルをこなすスキルを持ち合わせるとともに、リサイタルシリーズ「松本和将の世界音楽遺産」では1年間一つのコンセプトを掘り下げることによって他の追随を許さない高度に凝縮された音空間を達成している。第5回を迎えた2021年公演はホロヴィッツのピアノによる「ベートーヴェン4大ソナタ」で高い評価を受けた。これまでに2枚のレコード芸術特選盤を含む22枚のCDをリリース。2009年よりコンサートでの臨場感をそのまま録音するべく始まった「松本和将ライブシリーズ」には3枚のショパンアルバム、「月光」「熱情」「テンペスト」「子供の情景」「ブラームス：ピアノソナタ第3番」などのドイツ作品中心のアルバムがある。2019年4月上里はな子とのデュオによる「本気の」小品集「エストレリータ」「シャコンヌ」も2枚同時発売された。またコロナ禍を機にオンラインでも活動も積極的に取り組みはじめ、YouTube・オンラインサロン・Twitterなどで自身の演奏動画の他深い見識に基づく解説やつぶやきなどをアップし話題となっている。

名古屋音大ピアノ演奏家コース客員准教授、東京音楽大学・愛知県立明和高校・浜松学芸大学講師として、後進の指導にもあたる。これまでに谷口厚子、芦田田鶴子、故中島和彦、角野裕、御木本澄子、パスカル・ドヴァイヨンに師事。岡山県芸術特別顕賞、倉敷市芸術文化栄誉章、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギー音楽賞受賞。



ヴァイオリン 上里はな子 (うえさと はなこ)

上里はな子 Hanako Uesato

2歳よりヴァイオリンを始め、史上二人目となる全日本学生音楽コンクール小学生の部・中学生の部全国第1位を成し遂げる。1994年第63回日本音楽コンクール入選。1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第5位。

2001年ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール第2位、現在までの日本人唯一の入賞者である。桐朋女子高校音楽科に首席で入学。

1995年ウィーン国立音楽大学に首席で入学。安田生命クオリティ・オブ・ライフ文化財団から助成を受ける。ウィーン国立音楽大学のソリストオーディションで優秀賞を獲得し、リサイタルを行う。

また、ムジーク・フェラインでの大学オケの演奏会にも度々出演。8年間ウィーン国立音楽大学で学び、主席で卒業後2001年に帰国。帰国後はリサイタルや室内楽等で全国を飛び回るかたわら、各地のマスタークラスに講師として招かれ、後進の指導にも力を入れている。松本和将(ピアノ)、向井航(チェロ)とピアノトリオを結成し、2012年には全国ツアー、2016年には齊藤一郎指揮京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。また近年は、漆原啓子(ヴァイオリン)らとのカルテットでも活動している。多くのアーティストのライブにツアーメンバーとして参加し、幅広いジャンルのレコーディングにも参加、テレビ番組にも数多く出演。小林武史、小林健次、徳永二男、シモン・ゴールドベルク、ザハール・ブロン、ルッジェーロ・リッチ、ゲルハルト・シュルツの各氏に師事。豊橋市文化振興特別賞受賞。これまでに、ソロでは『Tiare』・『Scherzando』・『アニカル・ジブリ集』・『GIFT』の4枚、室内楽では『チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲“偉大なる芸術家の思い出に”』、『フランク、グリーグ：ヴァイオリンソナタ』、『Chaconne～無窮の響き』、『Estrellita～無窮の調べ』の4枚のCDをリリース、大きな話題となる。



完璧な技術に裏打ちされたその深く美しい音色は、聴衆を魅了し続け、共演者からも高い信頼を得ている